

「身近な地域の調査」を通して、「世界とつながる八代港」について追究します。「なぜ、八代港に外国からたくさんの物が集まっているのだろう」という単元を貫く課題を設定し、調査活動を行うことによって八代市の地理的な特長について気付かせたいと思います。そして、調査結果を踏まえ、将来の姿を「構想」することによって、主権者として地域社会の形成に参画し、その発展に寄与していこうとする態度を育むことができる内容にしたいと思います。

## 社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 令和元年11月19日（火）第2校時  
場 所 八代市立第二中学校 2年2組教室  
年 組 八代市立第二中学校 2年2組38名  
指導者 八代市立第二中学校 教諭 谷崎 圭

### 1 単元名 第4章 身近な地域の調査（東京書籍 p.265~p.281）

### 2 単元について

#### (1) 単元観

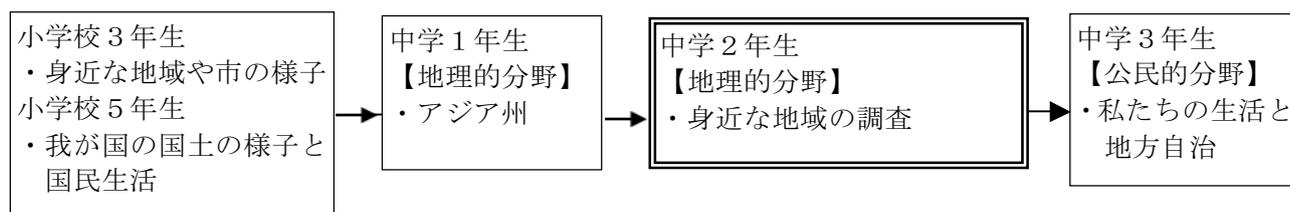
本単元は、現行学習指導要領「地理的分野」「エ 身近な地域の調査」にあたり、生活舞台としている地域の地理的事象を学習対象とした観察や調査などの活動を通して、身近な地域に対する理解と関心を深めさせることとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせることを主なねらいとしている。また、地域の課題を見だし、考察するなどの社会参画の視点を取り入れた探究型学習を行うことも期待されている。さらに、新学習指導要領の「(4) 地域の在り方」では、空間的相互依存作用、地域などに関わる視点に着目し、地域の在り方を地域的特色や地域の課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。

八代港は古くから天然の良港として栄え、江戸時代の徳淵の津から蛇籠港、内港、外港と位置を変えながらその規模を拡大してきた。明治時代以降は近代的な港湾として整備され、現在においては港湾利用型企業が多数立地し、熊本県の経済・文化の発展に大きく貢献している。また、近年では海外からのクルーズ船寄港が急増し、官民連携による国際クルーズ拠点として、新たな岸壁の整備が進められている。八代市は九州の中心に位置し、八代港は九州自動車道八代ICに直結している。九州各都市とも高速道路で結ばれるなど好位置にあり、南九州の物流拠点としてさらなる発展が期待されている。

本単元では、「身近な地域の調査」として「世界とつながる八代港」という主題を設定し、地域の課題を見出し追究することにより、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を養うことを目的とするものである。また、本単元は新学習指導要領の「地域の在り方」に大きく関わり、「地域の実態や課題解決のための取組を理解すること」「地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること」というねらいに迫ることができる有意義な単元である。このことは、熊本県中学校教育研究会社会科部会が掲げている「民主主義の担い手に必要な資質能力を育む」ことにも大きく関わる学習であると考えられる。

## (2) 系統観

本單元における系統は以下の通りである。



## (3) 生徒観（男子17名，女子21名，計38名）

本單元に関する実態は以下の通りである。

八代港に行ったことがありますか	ある（15名）外国船の見学・釣り・港フェスティバル・父の仕事の見学 ない（23名）
八代港について知っていることは何ですか	外国から大きな船が来る（10），広い（2），毎年祭りがある（1）， 何も知らない（25）
八代港に外国から人や物が集まる理由は何だと思いますか	港が大きい（2），中国などから近い（2），海が広い，外国から輸入しやすい， 色々なものを運んだりするときの通り道，大きな港で船が泊まりやすい， 八代の観光をしたい，船が入りやすい，近くに工場や店がある，大きなフェリーがある， 観光目的や物の輸出入のため，交通網がある程度いい，船が入りやすい地形をしている（1）， わからない（23）
八代市の特長は何だと思いますか	特産物が多い（3），自然が豊か（3），水がきれい（3），農業が盛ん（2）， ぼんぺいゆ（2），田畑がたくさんある（2），トマト，たたみ，海に面しているところ， 外国人が多い，歴史がたくさんある，平野で海に面している（1）
八代港に入ってきた物はどうなっていると思いますか	トラックなどで運ばれる（5），様々な会社や工場に運ばれる（4），日本全国に運ばれる（3）， 売られたり使ったりする（2），どこかに運ばれる市場に運ばれる，輸出される， どこかに売られる（1）
八代市は将来，どのようになってほしいですか	今のままでいい（3），もう少し発展してほしい（3），熊本市内のように大きな店ができてほしい（2）， 発展してほしい（2），発展しすぎずに自然豊かな町になってほしい，人が増えてほしい， 住みやすい都市，ほかの市からうらやましいと思ってもらえる都市，東京みたいな都市， 外国の人も関係なく働ける都市，歴史を残し良い暮らしができる， 過ごしやすい都市，工業が発展してほしい（1）

アンケートの結果，八代港に行ったことがある生徒はいるが，外国の船が来るということ以外について知っている生徒はほとんどいない。八代港に人や物が集まる理由について，港の大きさやアジアと八代の位置関係について気付いている生徒もいる。また，八代港に入ってきた物がどこかに運ばれているか，どのように加工されているかなどについては想像できている生徒はいるが，知っている生徒はいない。

#### (4) 指導観

- ・「世界とつながる八代港」という主題を設定し、「地域の在り方」を考えるとという学習の目的を明確にするために、八代港と熊本港を比較したグラフから「なぜ、八代港には外国からたくさんの物が集まっているのだろう」という単元を貫く課題を設定し、意欲的に追究する手立てとする。
- ・G T（ゲストティーチャー）を調査の段階で活用し意見交換することで、学習内容をより身近なものとして認識させ理解を深めさせる。
- ・調査結果をもとに地域の在り方を構想する単元後半の段階では、「八代港の良さをどのように生かせば、さらに八代が発展するのだろうか」という課題を設定し、調査活動から分かった事実を活用し、個人で意見を述べたり集団で合意を形成したりする活動を行う。また、八代が持つ課題や地域がたどってきた変容、地域の今後の「持続可能性」（将来にわたって適切に維持・保全され、発展できること）に着目して将来の姿を「構想」させる。
- ・調査結果から読み取れた事実なのか、それに基づいた自分の解釈なのかを明確に区別できるように発表や論述をさせる。
- ・調べ学習を通して八代港に外国から物が集まり、それが車で工場などに運ばれて加工され、生活が豊かになる物に変わり、九州各地に運ばれていることに気付き、八代市の人たちが熊本県や九州各地の人たちの生活を支え、豊かにする一役を担っていることを知り、地域に対する愛着を深めさせる。
- ・八代はアジア諸国に近く九州の中央に位置し、高速道路・港・鉄道などの交通網がつながる拠点に位置しているという地理的特長を生かした構想を考え、八代市の将来について明るい展望を持たせる。

### 3 単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	身近な地域の調査を行う際の視点や方法を基に、地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えさせる。
社会的な 思考・判断・表現	身近な地域の地域的特色や地域の課題を、地域の調査を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現させる。
資料活用の技能	適切に選択した情報を基に、身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題について読み取ったり図表などにまとめさせたりする。
社会的事象についての 知識・理解	身近な地域の調査について、調査する地域の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けさせる。

4 単元の指導計画と評価（規準）計画（全9時間 本時 8/9）

次	時	主な学習活動	評価
1	1	「身近な地域を見直そう」～課題づくり～ ・八代港と熊本港を比較したグラフを見て課題を設定する。	・資料をみて疑問を抱き，課題を設定することができる。  【資料活用の技能】
<b>単元を貫く課題：なぜ，八代港に外国からたくさんの物が集まっているのだろう</b>			
2	1	「八代港について知り，仮説をつくろう」 ～八代港の基礎情報と仮説づくり～ ・八代港の基本的な情報について知る。 ・単元を貫く課題に対する仮説を考える。	・八代港の位置や変遷，現状について知る。  【知識・理解】
	1	「仮説を品目や視点からさぐる」 ～調査計画～ ・品目（とうもろこし，アルミニウム及び同合金，ウッドチップ，視点（輸出，八代港の機能，八代港の変遷，位置・交通）に分かれて調査計画を立てる。	・八代港について意欲的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度】 ・適切な仮説を設定し，調査結果の見通しや調査計画を立てている。  【思考・判断・表現】
	2	「調査をしよう」～調査活動～ ・様々な資料を使って比較や背景の視点から調査をする。 ・調査活動のためにGTを活用する。	・様々な資料から自分たちの視点に関係のある資料を選択している。  【資料活用の技能】
	1	「調査結果をまとめよう」 ～調査結果のまとめ～ ・各班に分かれて調査結果をまとめる。	・調査結果から考えたことを整理し，地図や図表などに適切にまとめている。  【思考・判断・表現】
	1	「発表会をして八代港の姿を知ろう」 ～発表会～ ・各班で調査したことを発表し，単元を貫く課題について多面的・多角的に捉える。	・自分たちのグループが設定した調査テーマについて，その調査結果や考えた内容を分かりやすく伝えている。  【資料活用の技能】
3	本時	「地域の将来像を考えよう」～構想～ ・八代港の特長と課題を知り，八代港の良さを生かした将来の姿を提案し意見交換を図る。	・他のグループの発表を聞いたり，意見交換をしたりすることで，八代港のこれからの発展について考えようとしている。  【関心・意欲・態度】
	1	「身近な地域の調査のまとめをしよう」 ～まとめ～ ・世界とつながる八代港について，学習のまとめを行う。	・これまでの学習をまとめ，ワークシートに世界とつながる八代港についてその課題と展望を記述している。  【知識・理解】

## 5 本時の学習

### (1) 本時の目標

これまでの調査結果を踏まえ、八代港の特長や課題を出し合いながら、八代港の将来の姿を意欲的に考えることができる。

### (2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	○教師の指導 ・予想される生徒の反応	教材 資料等
導入	5分	1 これまでの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。	一斉	○単元を貫く課題について班に分かれて調べ学習をしてみて、八代港のどのような良さに気づき、どのように考えているか発表させる。 ・港の機能が充実している。 ・九州の中央に位置している。	広用紙
		学習課題：これまでの調査結果を踏まえ八代港の将来像について考えよう			
展開	10分	2 これまでの調査で気づき考えたことを踏まえ、八代港の課題について発表する。	班	○今まで調査してきた気づき考えたことや新たな資料をもとに八代港の課題について発表させる。 ・輸出が少ない。空き地が多い。	資料
	中心発問：八代港の良さをどのように生かせば、さらに八代市が発展するのだろうか				
	25分	3 八代港の良さを生かす方法を理由をつけて班ごとに話し合い発表する。	班 一斉	○八代港の特長、調査内容、将来の姿、理由について班で考えて発表させ、八代市の発展に努力しようとする態度を育む。 ・八代港は深く、大きな船も入れ、九州の中央に位置しているという良さがあります。調査をして八代港に入ってきた飼料は県内の畜産を支えているので、飼料工場を増やしたらどうか。	調査資料 発表資料
5分	4 GT の話を聞く。	一斉	○八代市が八代港について、どのような議論を行い、取組を計画されているかについて説明してもらう。	GT 八代市港湾振興課	
まとめ	5分	5 本時の学習を振り返る。	個人 一斉	○今日の学習をまとめてみましょう。	ワークシート

### (3) 本時の評価

場面	評価基準
評価	A：八代港の将来の姿について、これまでの調査結果と資料、及び友達の前で発表や GT の説明を基に意欲的に考えている。 B：八代港の将来の姿について、これまでの調査結果と資料を基に考えようとしている。